



シリーズ  
あなたとつなぐ

甲賀市認定  
新規就農者



市議会

市議会として甲賀市認定新規就農者の方々の課題を聴くため、第三回意見交換会を傍聴しました。

お客様の笑顔を見ることが

モチベーションにつながる

〈新規就農制度とは〉

認定新規就農者制度は、新たに農業を始める方が作成する青年等就農計画を市町村が認定し、その計画に沿って農業を営む認定新規就農者に対して重点的に支援措置を講じようとするもの。

〈甲賀市の新規就農者の状況は〉

令和4年度において、認定新規就農者の認定数は県内では減少の傾向にある中、本市は増加の傾向で、直近3年で2.5倍となり、県全体の25%を占める。

●部門別によると半数以上が野菜で、果樹、作物が続く。



意見交換会に参加された認定新規就農者

- 就農時の年齢層は30代が一番多く全体の60%を占めるが、50歳以上の方も15%認定新規就農者として認定されている。
- 女性の方々は県全体では15%で、近年、本市においても女性の新規就農者が増えてきている。
- ハウス設置面積は、甲賀市の施設面積は約274aである中、近年急増しており新規就農者による設置面積は40%となる
- 定期的に営農圃場の現地見学会やイチゴ塾、トマト塾といった研修も行われている。

### 〈新規就農をしてみても感想は〉

- 時間配分が非常に大事になり、また家族の協力も得ながら取り組んでいる。
- 収穫量の安定や防除方法など、困った時は、市のサポートを得ながら取り組んでいる。
- 全部自分で決められる分、手を抜くとそれなりの結果になってしまう。
- 令和7年にオープン予定の道の駅あいの土山への期待も大きい。
- 50代以上の活動支援策が少ない状況。



### 議会として意見交換会を傍聴して

甲賀市の新規就農事業施策は、資金面だけでなく、事業継続に必要とされる知識・経験の面でのサポートが他市に比べて手厚く、各新規就農者の方々が、「□を揃えて『普及員の方がおられたから継続できている』とおっしゃっていたのが印象的で、甲賀市ではこの伴走支援が認定新規就農者の離農が少ない要因と思われる。